

ながじんまがじん



—平戸ザビエル記念教会—

— 理念 —

衆和会は、透析医療を中心とした24時間対応の腎疾患専門施設として、地域社会に貢献します。

— 基本方針 —

1. 自己研鑽による透析技術の飽くなき追求
2. 患者の権利を守り、機能的なチーム医療を提供
3. 地域の医療・福祉と連携し、入院を必要とする患者の受け皿

特集：こくら庵紹介

- 持続グルコース測定（CGM）について
- ふれあい看護体験
- 安全対策チーム
- 新人紹介
- 読んで得する感染情報
- 薬剤課だより
- 医療相談室だより
- ザ・ながさきの祭

TAKE FREE ご自由にお持ち帰りください



こくら庵紹介



こくら庵 施設長 小松 利恵子

特別養護老人ホーム こくら庵をご紹介します。

特別養護老人ホームは介護保険施設の一つで、要介護認定を受けている方が利用できます。また、「地域密着型サービス」とは、要支援や要介護状態となっても可能な限り、住み慣れた自宅や地域での生活を継続できるようにするためのサービスです。なので、長崎市にお住まいの方で自宅での介護が困難になった方が利用できる施設です。

こくら庵が提供しているサービス

ユニットケア

10人以内の少人数の方が暮らす空間を1ユニットとし、ご自宅と同じような環境、同じような日常生活を過ごす事ができるように介護サービスを提供していくシステムです。少人数の方が相互に社会的関係を築き、自立した生活を営むことを支援します。

空床利用型ショートステイ

ご自宅で介護されているご家族が、病気、出産、旅行などで一時的に介護が困難になったり、ご家族に休養が必要になった場合など、介護が必要な方が短期間、施設に入居できます。こくら庵の入居者の方が長期入院で空床があるときにご利用いただけます。

こくら庵の理念・基本方針

理念

人生の先輩に敬意を払い、その人がその人らしく暮せるよう支援します。

基本方針

- 1.安全で快適な居心地の良い暮らしを支援します。
- 2.入居者さまとご家族の“思い”を大切にします。
- 3.自己研鑽に努め、より専門的な介護サービスを提供します。



こくら庵での暮らし

入居者様のペースに合わせて生活して頂けるよう配慮しています。初めから決められた日課はありません。透析治療がある方は、長崎腎病院の血液浄化センターへの送迎をいたします。

《食事について》

リビングで提供させていただきます。朝食は8:00～、昼食は12:00～、夕食は18:00～です。提供時間から2時間の範囲内で、好きな時間に召し上がって下さい。



リビング



お風呂場

《入浴について》

一人ひとり、ケアワーカーがついて入浴をしています。

《余暇時間・行事》

居室で趣味の絵を描いたり、リビングで女子会したりとそれぞれに過ごしています。希望があれば外出のお手伝いもしています。



誕生日会

おやつ時間です。



近くの神社へお参りに行きました。



節分の行事で鬼がいます

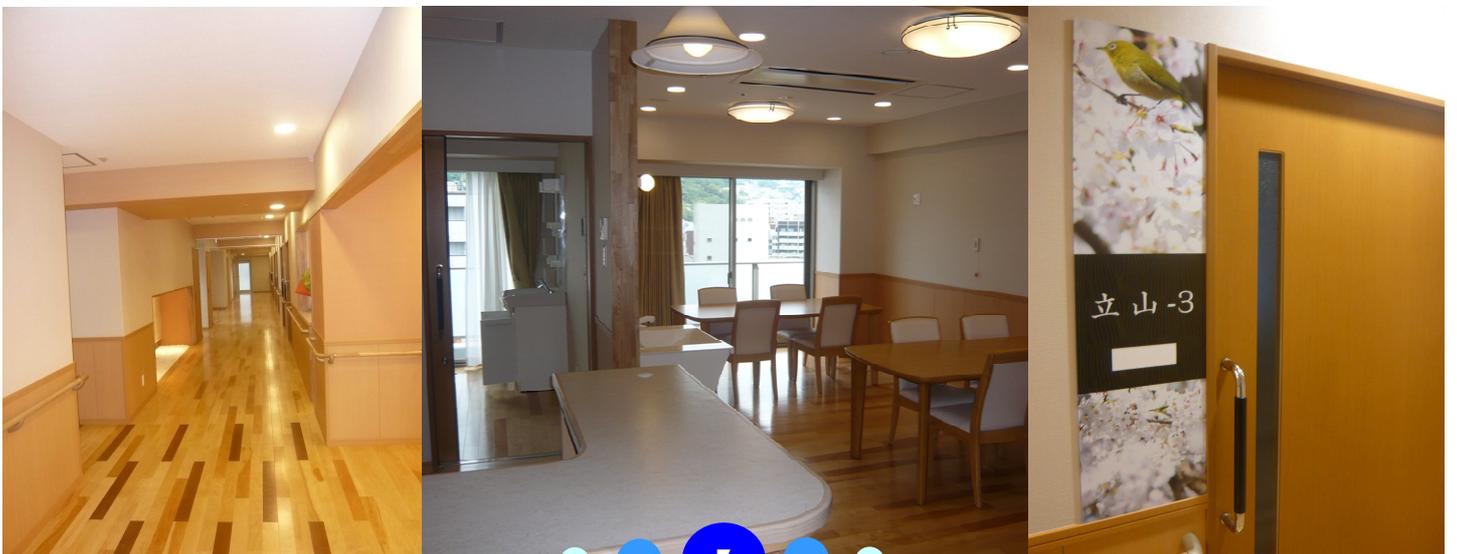
《就寝時間》

ご自宅でのいつもの時間に起きて、就寝してください。



入居を検討されている方は、まずは見学に来てみてください。(説明の担当者が不在の場合もあります。お電話で予約を取って下さい。)

ショートステイをご希望の方は、担当のケアマネジャーへご相談ください。





～第6回～検査の意味を理解しましょう

持続グルコース測定(CGM)

長崎腎病院
臨床工学課
岩永 正人

皆さんが透析治療をされるうえでいろいろな医療機器が必要となりますが、今回はその中でも糖尿病で血糖値の管理をされている方の為に、血糖値を持続的に測定する最新の機器を紹介します。

それは、持続グルコースモニタ【iPro®2】(メトロニック社)といいます。

この医療機器は、アメリカでは既に1999年に食品医薬局(FDA)が承認して、広く使われていましたが、日本では、2009年に厚生労働省から医療機器として認可され、ようやく2010年に保険適用となりました。

これまで自己血糖測定(SMBG)では、1日の測定回数に限界があり、血糖値の変動が測定時点の値でしか知りえず、治療方針を決定する医療者側にとっても大きな問題でした。CGMでは約5分ごと(1日に最大288回)のグルコース濃度を測定しレコーダーに記録していますので、24時間の血糖変動の推移を知ることができ、患者さん個々に合わせた食事量やインスリン等の薬物投与量のより良い調整が可能となりました。

実際のCGMシステムを紹介します。

【CGMに必要な物品】



皮下組織に刺す針

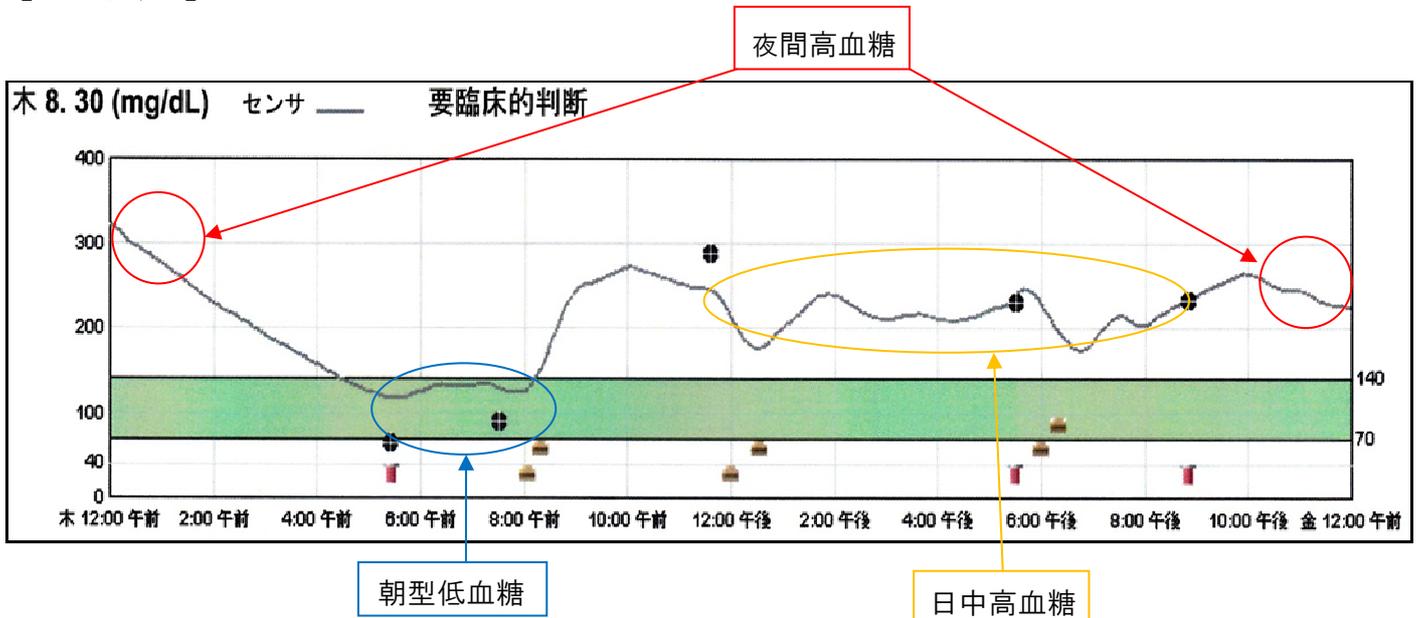
穿刺器具

iPro2 本体

データ取り込み器

測定の様子

【CGMグラフ】



上図は24時間の血糖値の変動の推移を表示しています。夜間の就寝時は高血糖状態で経過、朝方は低血糖状態、日中はまた高血糖状態になっていることがお分かり頂けると思います。機器本体は小型化・防水化もされていて、測定中の機器操作が不要なので、普段通りの日常生活を送っていただけます。血糖コントロールに不安をお持ちであれば、主治医の先生に相談されてみてはいかがでしょうか？

ふれあい看護体験

長崎腎病院 看護課 内野澄子

「看護の日」の関連行事として、一般の方や次代を担う高校生以上の方に、看護の現場を直接みたりふれあっていただいて看護への理解を深めてもらうことを目的に、当院でも「ふれあい看護体験」を毎年実施しています。

今年度は8月12日に2人の女子高校生が看護体験に参加してくれました。2人とも将来「看護師」になりたいと考えており今回の看護体験に参加されたということでした。まず病棟課長によるオリエンテーションの後、外来や放射線科、検査科、薬剤課、リハビリ室等の見学を行い、その後5,6階の病棟を中心に看護師体験を行いました。特別介助浴や全身清拭の体験、食事の配膳や下膳、食事介助、車椅子やストレッチャー体験などを行っていただきました。緊張して慣れない手つきながら、一生懸命に行う姿を見ていると看護師になりたての頃の自分を思い出し新鮮な気持ちになりました。せっかくなので様々な体験をしてもらおうと計画していましたが、限られた時間の中でハードスケジュールになってしまったのではと反省しています。

午後からは入院患者さん数名とお話していただきました。最初は2人とも緊張した様子でなかなか言葉かけが出来なかったのですが、患者さんの方からいろいろなお話をされて緊張がほぐれていったようです。

最後の反省会では、透析療法を全く知らない状態であったが見学させてもらっていろいろと勉強になったとか、病院内での看護師以外の職種(薬剤師・検査技師・放射線技師・ケースワーカー・理学療法士等)の存在を知ることができて良かった等今回看護体験を行って、より一層看護師になりたいという気持ちが高まったという言葉聞き安堵するとともにとても嬉しい気持ちになりました。私自身も今回の経験を通して一人でも多くの方が看護師という職種に興味を持ち将来看護師を目指すことが出来ればと考えるきっかけになったと思います。



安全対策チーム

「転ばぬ先の杖」

長崎腎病院 理学療法士 林 涼子

過去一年間に一度でも転んだという経験がある高齢者の割合は、男性8%、女性16%くらいだそうです。ただこの「過去一年間で転倒経験があるか」という質問を若い人たちに行っても、結構な数の人が手を挙げ、転ぶのはお年寄りも若い人もそれほど変わらないことに気がきます。高齢者と若い人との違いはというと、一度転んだ人がまた転ぶ確率が高齢者ではグンと上がってしまうということです。

理由は、一度転んだことで(本人も周りの家族も)転倒が怖くなり、活動量が減り、筋力などの機能が低下するからです。転ばないようにすることで反対に転ぶリスクが高くなるかもしれないということです。

転倒は高齢者では骨折に至る可能性が高いですから、私達も一番恐れていることではあります。

“転ばぬ先の杖”

文字通り、転ばないために杖をつく…もちろん大事なことです。

それともう一つ、転ばないための体作りを日頃から心がけること。

運動はきついかもしれませんが、私達はそういった知識を伝え、かつ転倒予防に向けた運動などを促していく必要性を強く感じています。



新人紹介 ~The New Face~

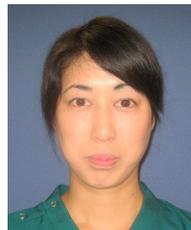


血液浄化センター 看護部

植木 秀一

趣味: 育児

8月から入職しました。病院内にヘビや大きなクモ等が出る田舎の透析病院から来ました。腎病院の最新設備に戸惑っていますが、早く慣れるよう頑張ります。よろしくお祈りします。



病棟看護部

徳永 照代

趣味: 小物作り

8月より入職しました徳永です。これまでの経験を活かし一日でも早く仕事に慣れるようがんばりますので、どうぞよろしくお祈りいたします。

読んで得る 感染情報

■ご注意ください！間もなく、
ウイルス感染注意報が発令されます。

発表！秋から冬にかけて登場するウイルス ワースト4

食欲の秋、読書の秋、スポーツの秋、秋にはいろいろありますが、秋から冬にかけてはウイルス感染症も流行る季節。おいしい秋、楽しい秋を満喫するためにも、ウイルス感染にはご注意ください。

第1位……インフルエンザ

インフルエンザは、秋冬に流行する、ウイルス感染症の一種。“風邪”は鼻や喉に症状が現れるのに対し、インフルエンザは急に38～40℃の高熱が出るのが特徴で、さらに筋肉痛や関節痛などの症状が強く現れることも。重症化すると、抵抗力の弱い乳幼児や高齢者では命にかかわることも。

第2位……ノロウイルス

生ガキのおいしい季節に登場するのが、ノロウイルス。カキなどの魚介類の内臓に付着しており、生のままで食べると感染する恐れがあります。しかし、熱に弱いという性質を持っているので、加熱すれば大丈夫。また、感染した人の嘔吐物や便から二次感染を起こすこともあります。

第3位……ロタウイルス

ロタウイルスは、抵抗力の弱い乳幼児が感染すると下痢や嘔吐といった特有の症状を発症します。大人は感染しても発症しにくいのが特徴です。外部との接触があまりない乳幼児が感染する原因の多くは、感染に気づかない大人からうつされるケースが多いようです。

第4位……RSウイルス感染症

11月から1月にかけて流行するRSウイルス感染症は、RSウイルスが引き起こす急性呼吸器感染症のこと。年齢を問わず発症するが、大人の場合は、鼻風邪などの軽い症状でおさまります。でも、抵抗力の弱い乳幼児が発症すると、細気管支炎や肺炎を起こしてしまうので要注意。

ウイルスから身を守る“三種の神器”が、これだ！

〈その1〉……手洗い

〈その2〉……うがい

〈その3〉……マスク

外出先から帰ったら、まず手洗いとうがいを心がけましょう。ウイルスは、手から口に入り、喉で停滞・繁殖するケースが多いため、手洗いやうがいである程度ブロックできます。また、体にウイルスを入れないためには、マスクも必須アイテム。マスクは、ウイルスの侵入を防ぐだけでなく、感染している場合は、飛散を防げます。周りにうつさないためにも、マスクは着用しましょう。マスクをすることで喉を乾燥から守れるので、ウイルスの繁殖も防げます。

“三種の神器”でもウイルスは完全には防げません。そこで大事なのが、体の免疫力を高めること。そのためには、規則正しい食事と十分な休息が大事です。みなさまウイルスに負けない体を作り楽しい冬をお送り下さい。



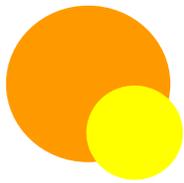
薬剤課だより

今回のテーマ

「アスパラギン酸カリウム」って何のくすり？

正解は、電解質(カリウム)を補給する薬です。
医師、看護師、薬剤師における面白い調査報告があり、「アスパラギン酸カリウム」は、それぞれ、32%、19%、17%が「ビタミン補給」と回答、さらに、12%、17%、12%が「滋養強壮」と回答したそうです。市販の栄養ドリンクの名前の影響がありそうです。ところが、慢性腎臓病の患者さんにとっては、カリウムの摂取や検査データには注意しなければなりません。お薬は正しい知識で安全に使いたいですね。





医療相談室だより

各種制度情報やよくある質問などをご紹介します

医療相談課 林田めぐみ

介護保険の利用には申請が必要です。
今回は、介護保険の申請の流れについてお話しします。

①申請する

申請の窓口は市町村の介護保険課や各行政センターの窓口です。本人のほか家族や親戚など代理の方や、地域包括支援センター・居宅介護支援事業者等による代行申請もできます。次のところでも申請の依頼ができます。（更新申請も含む）

- ・地域包括支援センター
- ・居宅介護支援事業所
- ・介護保険施設

※申請方法が分からない方は、医療相談課にご相談ください。

申請に必要なもの

●申請書

：市町村の窓口に置いてあります。

●介護保険証（65歳以上の方）

：ただし、40～64歳（国が指定する16疾病に該当する方に限り）の方は健康保険の保険証が必要です。



②要介護認定

申請をすると、訪問調査票と主治医の意見書そろった後に公平な審査・判定が行われ、介護や支援が必要な度合い（要介護度）が決まります。

●訪問調査

：調査員が本人のいるところに訪問し、心身の状態や日中の生活、家族・居住環境などについて聞き取り調査を行います。

●主治医の意見書：市町村の依頼により主治医が意見書を作成します。

●一次判定：訪問調査の結果と、主治医の意見書をコンピュータ入力し、一次判定を行います。

●二次判定（認定審査）：保健、医療、福祉の専門家が審査します。



③結果の通知

およそ30日以内で認定結果が届きます。（しかし、現状として最大2ヶ月を要することもあります。）

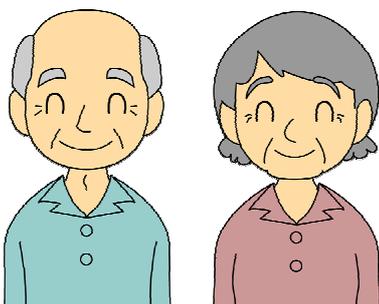
要介護度は7段階にわかれます。「要介護」の方は「介護サービス」を、「要支援」の方は「介護予防サービス」を受けられます。まだ介護が必要でない方は「非該当」と認定されます。

認定結果

要介護
要介護1～5

要支援
要支援1・2

非該当
(自立)



要支援と要介護に認定された方は、様々な介護保険サービスを利用することができます。

利用方法等、分からないことがありましたら、医療相談課へ御相談ください。

ザ・ながさきの

祭

長崎くんち

長崎腎病院
臨床工学課
宮本 教司

今年もこの季節がやってきました！

「長崎くんち」

私が長崎に来て7年になりますが毎年楽しみな長崎のお祭りのひとつです。

長崎くんちは、市内の中心部にある昔からの町が7年毎の輪番制で奉納踊りを演じ、毎年5～7種類の奉納踊りを見ることができます。

毎年10月7日～9日の3日間に開催されるのですが、長崎くんちが他の地域のまつりと違うのは、「庭先回り」をやることだと思います。だからわざわざ諏訪神社などの本場所まで行かなくても長崎駅や浜町さらには普通の街中でも偶然目にするのでこの3日間は、何も考えずに町を歩くだけでも「長崎」を楽しむことができます。

今年は台風の影響で順延になり各踊町や露店の方たちも忙しかったと思いますが、無事、「長崎くんち」を楽しめたのでは・・・？



地域連携室からのご案内

診療科目 内科,腎臓内科,
泌尿器科(長崎腎病院のみ火・金の午前)
診療時間 AM9:00～12:00 PM15:00～18:00

		月	火	水	木	金
■長崎腎病院	AM	宮崎医師	原田医師 澤瀬医師 (泌尿器科)	李医師	船越医師 西野医師	原田医師 澤瀬医師 (泌尿器科)
	PM	原田医師	李医師	宮崎医師	常勤医	船越医師
■長崎腎クリニック	AM	橋口医師				
	PM					

 医療法人衆和会 **NAGASAKI JIN GROUP**

長崎腎病院

〒850-0032
長崎市興善町5番1号
☎095(824)1101



MAP



長崎腎クリニック

〒851-2105
西彼杵郡時津町浦郷272-14
☎095(813)2777

